

各位

上場会社名 株式会社エコノス
代表者 代表取締役社長 長谷川 勝也
(コード番号 3136)
問合せ先責任者 取締役副社長 新行内 宏之
(TEL 011-875-1996)

第2四半期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成27年6月24日に公表いたしました平成28年3月期第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)の業績予想と、本日公表の同実績に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,992	△6	△34	△18	△26.62
今回修正予想(B)	1,933	6	△30	△18	△24.94
増減額(B-A)	△58	12	3	0	
増減率(%)	△3.0	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	—	—	—	—	—

修正の理由

平成28年3月期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、リユース事業においては売上高が好調に推移したものの、低炭素事業においては環境関連製品の販売が計画通り進捗しなかったこと等により、当社グループの売上高は前回発表予想を下回りましたが、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は前回発表予想を上回りました。

なお、前回発表予想においては、上場関連費用(株式交付費及び株式公開費用)を販売費及び一般管理費として見込んでおりましたが、実績の上場関連費用11,431千円(株式交付費2,713千円及び株式公開費用8,718千円)については営業外費用として会計処理することとしたため、販売費及び一般管理費が減少し営業利益が増加しております。これにより営業利益の前回発表予想と実績に差異が生じることとなりました。詳細につきましては、本日適時開示の当社決算短信をご覧ください。

なお、平成28年3月期の通期業績予想につきましては、変更ありません。

以上